



THE SOCIETY FOR HAPPY LIFE OF
CATS AND PEOPLE

会報

第5号

協議会事務局 PHS 070-5577-5737・070-5577-5858 会長 井本史夫

平成16年8月18日発行

発行者

青葉区ねことの暮らしを考える協議会

活動レポート (H16春夏)

第3回 定期総会開催 (6月)

[6月9日 午後2時～3時 区役所304号会議室]

会員、来賓の方々に列席いただき、総会を開催しました。15年度の事業・決算報告や16年度事業計画、予算案承認など例年通りの議事に加えて今年度は、現役員の任期が満了となりましたので役員改選が行われました。新規役員は下記一覧の通りです。

また、協議会事業の充実を図るために、会則の一部改正も審議され、これも無事承認されました。

【会則 改正内容】

新旧照表	現行	改正
(第5条4)	理事6名以内	理事10名以内
(第6条2)	事務局長及び各理事は、会長が推薦し、総会の承認を受ける。	事務局長及び各理事は、会長が会員の中から選任することが出来る。

【今期 新役員 (平成16年度～)】

- 会長 井本史夫
- 副会長 今井千代子
- 事務局長 西康男
- 会計理事 武井俊夫
- 理事 太田成江
- 理事 三橋米子
- 理事 加藤賢郎
- 理事 市川千嘉子
- 理事 日向千絵
- 理事 小林尚子
- 理事 長澤恵子
- 理事 山下理恵子
- 理事 新井 晧
- 理事 川島康宏
- 監査 桜田順子
- 顧問 川島健蔵
- 顧問 古橋 彰
- 参与 畠山康德



協議会主催 講演会開催

「大学のねこ、街のねこ～ところ変われば猫変わる～」 大好評でした！！

[2月19日(木)午後2時～3時30分 青葉公会堂2階会議室] 林 良博先生を講師にお迎えした講演会は、80名近い方が集まりました。動物と人との関わり、猫と人とのつながりなど、豊富な資料のスライド上映を交えて先生の講演内容は、とても興味深く、あっという間の1時間半でした。すばらしいお話でしたので、ご都合の合わなかった皆さんにも、是非お伝えしたいと思います。講演会については、2ページに詳しく。

キャットメイト委員会始動！！

キャットメイト支援活動の充実を図るため、キャットメイト委員会を立ち上げました。現在は事務局や役員が中心になって活動していますが、キャットメイト会員の方の積極的な参加が、今後期待されることです。

今年度は

1. 定例アンケートの発送(4月第1回)
 2. キャットメイト交流会、勉強会などの企画
 3. グループの把握
- などを、活動の主として考えています。

キャットメイト交流会開催 (2月・6月)

[2月19日・6月9日]

講演会や総会終了後にキャットメイト交流会を開催いたしました。2月の交流会は、地域猫の発信地「磯子区ねこの飼育ガイドライン推進協議会」からゲストをお迎えし、先人の苦労や工夫などをお聞きしました。また、6月からは、テーマを決めて交流会を開催しています。6月のテーマは「キャットメイトグループ仲間の作り方と猫の生活パターンについて」でした。

【会員通信】

健康フェスティバルと区民まつりに参加します。

平成16年11月6日(土) 詳しくは公報あおば10月号でお知らせします。

平成16年度 年会費納入のお願い

平成16年度の会費納入については、下記への振り込みをお願いいたします。

郵便局振替口座 00290-6-16690

「青葉区ねことの暮らしを考える協議会」

新規会員の募集について

随時募集しています。





林先生の講演

80名の入場者があった今回の講演会。講演を聞き終えた方からは、「素晴らしかった。」「目からうろこが落ちました。」「こんなお話をはじめて聞きました。」「猫や動物たちと共存しなくては、と改めて思いました。」など大絶賛をいただき、企画した当会としても、大変うれしく思いました。林先生は東大の試験準備や採点などでお忙しいところ、快く講演依頼をお引き受けくださったばかりか、当協議会のことを深くご理解いただき、講演の中で協議会の担うべき役割などにも触れてくださいました。

入場者の方の感想を以下にいただきました。

- * 人の暮らし、動物とのかかわりは、都市に限らず、田舎でも外国でも変化をしているのに驚きました。
- * 今は地方でも、近隣の人と人とのつながりが薄く、地域社会の崩壊が見られる。一世帯だけではなく、近隣同士、声を掛け合って猫の世話をすることで、猫を通じて地域社会の復興をしている。素晴らしいことだというお話に、そういえば、昔は当たり前のように地域の人の顔が分かったが、今は付き合いも薄い。人の顔が分からないのだから動物はなおさら分からない。地域猫の考えは、猫だけの問題ではなく「街づくり」つまりは我々人間社会の大切な関係を作り直せる考え方なんだと改めて気がつきました。
- * 猫をプライベートキャット、コミュニティキャット、ストリートキャットとわかる呼び方に、納得しました。
- * 「なぜ人は動物にエサを与えたいのか？」という疑問に対する解説がとても面白かった。
- * イギリスのケンブリッジ大学では、大学内に住んでいる犬猫の歴史が古く、伴侶動物に敬意をもって対応するイギリス人の考え方がうかがえました。
- * 大学の研究室で飼っている猫たちの話がとても面白かった。学生たちも猫たちも、互いにしばらく様子を伺っていたが、微妙な距離感を保ちながらもすぐに打ち解け、猫はそれぞれの個性を十分発揮。親しみやすい猫は「ピーちゃん」、犬のように生徒を守るような行動をする猫は「チョロさん」と呼ばれていると言ったエピソードに、個性豊かな猫たちとそれぞれの個性をよく観察し、それに応じて接している学生の生活がうかがえ、とても楽しみました。

先生からは会に金参万円のご寄付をいただいております。紙面にて格別のご配慮ご芳情を賜わりましたこと、心よりお礼申しあげたいとおもいます。

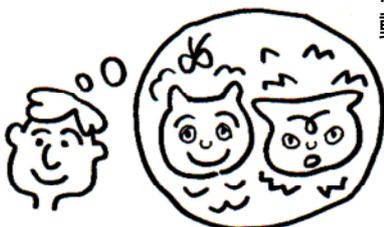
コラム

理事より

武井俊夫 武井ペットクリニック 院長

猫に限らない話ですが、動物には気持ちがあります。当然のことながら診察や治療は動物には嫌なものです。特に個人主義、我がままな動物と云われる猫にとっては「嫌なものは嫌！」なものでしょう。そうかと云って何もしないのでは仕事にならない。結局は猫の機嫌を見ながら治療を進めることになるのですが、そのバランスが難しい。耳の治療を例にとると、猫は痒くて耳を振りたがる。余り自由に振らせていては治療も出来ないし、反対に抑え過ぎると暴れてしまう。治療する側がその猫の我慢の限界を把握し、上手くバランスを取っていかないと良い治療ができません。

そんな苦労もある動物診療ですが、最近は診察に来た猫がどんな性格なのかなあと考えることが一つの楽しみになりつつあります。



加藤賢郎 青葉区保健活動推進員副会長

保健活動推進員の副会長として、理事に就任し2年目ですが、平成13年度の猫調査に始まり、14年度には、娘が東京のマンションで飼っていた猫を事情があって引き取り、15年度には、交通事故に遭遇した野良猫を家で引き取ったりして、毎年、猫に関わりこれも何かの縁と思います。

保健活動のひとつとして、高齢者の一人暮らしを地域で見守る事業もありますが、高齢者の中には、何らかの理由により、重いペットロスに陥る方が居ます。協議会での講習会など個人的経験からこうした人達の気持ちも理解できる様になりました。

今後共、協議会の活動を通し、より理解を深め地域(ふれあいの会)に寄与出来るよう努力したいと思います。



キヤットメイト交流会

6月9日

司会 新井先生

キヤットメイトさんは、猫に餌をあげたり不妊手術を受けさせたりと、猫に対してお世話をするだけでなく、猫に関わっていない地域の人々とも、仲間作りをして行けるといいですね。

小林・山下

昨年行ったバザーの売り上げで、当時必要な手術が全て出来ました。バザーは地域の人々に対し重要な広報活動の場にもなります。これからも息の長い活動にしていきたいと思います。

太田

餌のやり方で苦情を言われ悩んでいる方がいらっしゃるようですが、やり方はそのエリアごとに色々あるでしょう。大切なのは人間関係を良くすることです。折り合いをつけながら、上手により良い方法を見つけましょう。

太田

猫のテリトリーは半径200m 広ければ1km。この圏内で糞などが有れば取って歩きましょう。糞の場所が分かればトイレが作れるか？、も検討しましょう。「これはうちの猫のじゃありません」等と言わずに！！これは一番のトラブルのもとです。

キヤットメイト

私は一年近く餌をやっていますが、猫とふれあうことが出来ません……………？

太田・山下

その猫は過去に人間不信になったことがあったのかも知れません。自分の足近くに餌を置き、しらんぷりしてしゃがんでいたり、猫が寄ってくるようになり、徐々にさわられるようになります。最初に触るときは手の甲を使いましょう。手のひらよりも力が入らないので恐怖心が少ないです。焦らず気長に待ちましょう。

トイレや寝床を清潔に保つことは猫の為のみならず周辺住民への一番のアピールになります。ポイントは美観を大切に！です。

このほかにもまだまだたくさんの楽しく熱心な話し合いが交わされました。次回の交流会にも多くのキヤットメイトさんのご出席をお待ちしています。

猫との共生

キヤットメイト 斉藤正美

今日もまた何の罪もない猫が、人間の都合で一日700匹余り、年に約26万頭(全国)が人為的に殺処分されていると聞いております。なんとも痛ましく哀れなことです。

私と猫との出会いは、14年程前のある日、のらねこ(チビコ)が我が家に現れ、それ以来雨の日も風の日もそして雪降る日も通い続けてきました。そんな姿にほだされて飼いはじめたのがきっかけで、チビ太、プーチャン、ショーチャンにピグチャン、そしてポンコ等々、今では内猫6匹、外猫3匹を家族で可愛がっております。(チビコ、プーチャン、チビ太は他界)それぞれが個性あふれる姿、形、色彩をしており、邪気のない愛嬌たっぷりの仕草に思わず笑みがこぼれ、心が和みます。

このように人間の心をいやし、なごませてくれる猫が、不幸な生命を落とさなくてすむ社会、そして心地良く安心して暮らせる環境、猫との共生が出来る町づくりをめざして、行政、獣医師会、協議会、キヤットメイト会員の皆様方と力をあわせて、地道に息の長い活動を続けてゆきたいと考えております。

事務局から

青葉区獣医師会の先生方へ

避妊去勢手術ご協力有難うございます。手術に関しまして、マイクロチップは事務局に用意しておりますので、キヤットメイトから手術の要請がありましたら、事務局にご連絡ください。

キヤットメイトさんへ

今年度より当会支援による避妊去勢手術方法が変更になりました。年3回(春、秋、冬)アンケートをお出しします。そのアンケートにて、その時点で手術が必要な頭数をご記入下さい。予算内で可能な限り手術を行います。事務局より不妊去勢手術支援申込書を郵送いたしますので、青葉区獣医師会会員病院にて手術をお受けください。

ぼくたちには草が必要

猫が身づくろいでのみ込んだ毛がたまと毛球(ヘアボール)になって猫を苦しめます。



時にはウンナー位のまるでフンかと思うような物を吐くことも。

金属製の猫用くしやスリッカーで抜け毛をとってあげることも他に

イネ科の草を食べさせたり植物油、マーガリンを与えたりすると毛球にならずに体外に出すことができます。



ネシラシ(エノコログサ)



取ってきた草は除草剤などがついてるかも。よく洗ってネ。



まれに草を好んで食べない猫がいます。人生イロイロ。猫もイロイロ。

スズメのヒエ



お店で売っている猫用の草でなくてもこれらの草のやわらかい葉っぱを喜んで食べます。

毛が多く抜ける時期にはとくにたくさん食べたいナ♥



いい草がみつかったら根っこごと取ってきてビンにさしたり金鉢植えにするのもGOOD!

網戸用ネットなどをかぶせれば猫さんに一度に食べられないで長持ちするヨ。毎日ちよとずづ摘んで食べさせてネ。

募金箱の設置にご協力下さい!!

不妊去勢手術助成事業のため、区内動物病院・ペットショップ・区役所などに募金箱の設置をお願いしています。しかし、現在のところ、ご協力をいただいておりますのは、ほとんどが動物病院です。動物に直接関係のない個人商店などで、新規で募金箱設置にご協力をいただける事業所、店舗を随時募集中です。事務局までお知らせ下さい。今年度の募金中間集計は以下のとおりです。ありがとうございました。

H16年度
(8月現在まで) 計173,281円
区内9動物病院及び区役所への募金

猫の総称募集!!

キャットメイトさんがお世話している猫たちの総称がありません。素敵な総称を思いついた方は、電話で事務局までお知らせください。

例:ブルーキャット・チップキャット・青葉猫



編集後記

例年になく厳しい暑さの中、広報部、額を合わせての手作りの本号です。お忙しい中ご寄稿くださった皆様方に厚くお礼申し上げます。会報、企画などについてのご意見ご感想をお待ちしています。

(K)(I)(N)

賛助会員並びに寄付の御礼

賛助会員

青葉区食品衛生協会様	森久保薬品様
大日本製薬様	若松屋商事様
イソップ薬品様	日本全薬工業様
ファイザー製薬様	仏教平和会様

ご寄付

林 良博様、三枝靖子様、太田和道様
多額の賛助、ご寄付をありがとうございます。

新規 賛助会員 募集!!

協議会の趣旨にご賛同、ご支援をいただける企業や各種団体を募集しています。会費は年額1万円です。ご協力お願い申し上げます。

ボランティア募集!!

秋の催しのお手伝いなど

各種お問い合わせは事務局まで

